

G-2910C バスコンパクト  
 株式会社ユーホーニイタカ

作成日： 2011年6月15日  
 改訂日： 2017年2月21日

安全データシート(製品安全データシート)

【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名	バスコンパクト
会社名	株式会社ユーホーニイタカ
住所	〒300-2521 茨城県常総市大生郷町6136-7
電話番号	0297-24-2535
FAX番号	0297-24-2537
担当部門	本社工場
緊急連絡電話番号	0297-24-2535

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：気体）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分外
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分3（麻酔作用、気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（呼吸器、肝臓）
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	区分1
水生環境有害性（慢性）	区分2
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

皮膚刺激、重篤な眼の損傷、  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ、  
 眠気又はめまいのおそれ、呼吸器への刺激のおそれ、

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器、肝臓）、水生生物に非常に強い毒性、長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

[予防策] :

保護手袋／保護眼鏡を着用すること。  
環境への放出を避けること。  
漏出物を回収すること。  
ミスト／蒸気／スプレーの吸入をしないこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

[対応] :

ミスト／蒸気／スプレーを吸入した場合：  
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合：  
多量の水と石けんで洗うこと。  
皮膚刺激又は発しんが生じた場合：  
医師の診断／手当を受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
目に入った場合：  
水で数分間注意深く洗うこと。  
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に連絡すること。

[保管] :

密閉して保管すること。

[廃棄] :

内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

### 【3. 組成、成分情報】

単一製品、混合物の区別  
成分

混合物  
界面活性剤  
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩  
（法令名 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）  
脂肪酸塩  
溶剤  
グリコール系  
金属イオン封鎖剤  
カルボン酸塩  
除菌剤  
香料

### 【4. 応急措置】

皮膚に付着した場合	水で十分に洗い流す。 刺激を感じた時は医師の診断を受ける。
目に入った場合	速やかに流水でよく洗眼する。コンタクトレンズは外す。 状態に変化が見られた場合、速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	吐かずに口をすすぎ、水を飲む等の処置をする。 異常がある時は速やかに医師の診断を受ける。

【5. 火災時の措置】

消火剤	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	知見なし
特有の消火方法	(周辺火災の場合) 消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。 (着火した場合) 速やかに容器を安全な場所に移し、適切な消火剤を使用して消火する。移動不可能な場合には、容器および周辺に対して適切な消火剤で消火する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、必ず保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ゴム長靴等)を着用する。 屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。 多量の場合、人を安全に退避させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
局所排気・全体換気	なし
注意事項	なし
安全取扱い注意事項	取扱い後は手・顔等を十分に洗い、うがいをする。
保管	
適切な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 他のものと混同しないように保管する。
安全な容器包装材料	他の容器に移し替える場合は、当社指定の専用容器を使用する。

(商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器)

**【8. 暴露防止及び保護措置】**

保護具:

呼吸器の保護具	必要に応じてマスクなどを着用
手の保護具	ゴム手袋
目の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

**【9. 物理的及び化学的性質】**

外観	黄色～黄褐色液状（二層に分離し、混合時に濁る）
臭い	フローラル香
pH	8.35～8.60（原液、25℃） 7.50～8.00（5倍希釈液、25℃）
融点・凝固点	知見なし
沸点、初留点と沸騰範囲	知見なし
引火点	116℃
自然発火温度	なし
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	なし
蒸気圧	知見なし
蒸気密度	知見なし
比重（相対密度）	1.112±0.015（25℃）
溶解性	水と任意の割合で混合
オクタノール／水分配係数	知見なし
分解温度	知見なし

**【10. 安定性及び反応性】**

安定性	通常の実験条件においては、光、熱、衝撃に対して安定である。
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	なし
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	知見なし

**【11. 有害性情報】**

皮膚腐食性	知見なし
目腐食性	知見なし
刺激性（目、皮膚）	知見なし
急性毒性	知見なし

**【12. 環境影響情報】**

分解性	知見なし
-----	------

**【13. 廃棄上の注意】**

【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。  
 内容物を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄する。  
 使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。

【14. 輸送上の注意】

国内規制	適用法令の定めるところに従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	直射日光を避け、高温のところに置かない。 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号	なし

【15. 適用法令】

労働安全衛生法第57条の2第1項の政令で定めるもの	ジエチレングリコールモノブチルエーテル 30%以上40%未満
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律で定めるもの	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 10.5% (第一種指定化学物質)
毒物及び劇物取締法	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(特別管理産業廃棄物)	該当しない
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	該当しない
化審法	該当しない
消防法	第9条の3 指定可燃物(可燃性液体類)

【16. その他】

記載内容の問い合わせ先

会社名	株式会社ユーホーニイタカ
住所	〒300-2521 茨城県常総市大生郷町6136-7
担当部門	本社工場
電話番号	0297-24-2535
FAX番号	

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。  
 また、記載事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。  
 なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。